

【課題研究】ルーブリック評価 数学ゼミ（研究の過程編）

		S 高評価	A	B	C 低評価
学ぶ意欲	①多方面への興味関心	自分たちの課題研究に関係なく幅広く自然科学分野に興味関心を示す。	自分の課題研究に関連したことに興味関心を示す。	自分が好きな分野にのみ興味関心を示す。	自然科学に興味・関心がない。
	②知識の獲得	課題研究の結果解析、考察を行うためにより深く、自然科学分野の学習を行っている。	自分たちの研究課題に関する先行研究、類似研究の調査活動を行っている。	学ぶ意欲がみられ、課題研究に必要な用語について学習している。	課題研究で学ぶ意欲が見られない。
研究・過程	③研究の目的	研究目的や、興味をもったきっかけと今回の課題設定の関連性、課題解決の意義が明確に示されている。	研究目的や、興味をもったきっかけと今回の課題設定の関連性、課題解決の意義が概ね示されている。	研究目的は述べられているが、興味を持ったきっかけと今回の課題設定の関連性、課題解決の意義が曖昧である。	研究目的が述べられていない。興味をもったきっかけと今回の課題設定の関連性、課題解決の意義がみられない。
	④先行研究の調査 (ある時のみ)	研究課題について、すでに分かっていることや、先行研究の調査が行えている。文献などの整理・提示が適宜行うことができている。さらに、文献などの内容を理解し説明することができる。	研究課題について、すでに分かっていることや、先行研究の調査が行えており、内容を理解できている。文献などの整理・提示が適宜行うことができている。	研究課題について、すでに分かっていることや、先行研究の調査が行えているが、内容の理解が不十分である。文献などの整理・提示が不十分である。	研究課題について、すでに分かっていることや、先行研究の調査が行えていない。
	⑤研究の状況	研究・取り組みの方法や手順が適切に述べられており、全体像がはっきり示されている。さらに、より深い研究を行うための方針が見られる。	研究・取り組みの方法や手順が適切に述べられており、全体像がはっきり示されている。	研究・取り組みの方法や手順は示されているが、不十分な点が見られる。	研究・取り組みの方法や手順がまとまっておらず、全体像が全く示されていない。
	⑥研究内容の信頼性	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が正確に示されている。さらに、より合理的に説明するための分析方法や説明方法になど工夫点もみられる。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が正確に示されている。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が示されているが、不十分な点が見られる。	データの取り扱いまたは考え方の根拠に関する記述が示されていない。
	⑦協同性	グループ内の活発な議論と役割分担により、全員で協力し、効率よく研究が行えている。	グループ内で役割分担し、全員で研究が行えているが、議論が少なく、効率的でない。	グループ内で役割分担したが、全員で研究を行えていない。	グループ内で研究に対する役割分担ができていない。
	⑧表現方法の分析	研究結果・過程を図表・グラフなどで明瞭に表現している。また、結果・過程の理解が十分になされており、発展性も見られる。	研究結果・過程を図表・グラフなどで明瞭に表現している。また、結果・過程の理解が十分になされていない。	研究結果・過程を図表・グラフなどで表現しているが、不十分である。また、結果・過程の理解が不十分である。	研究結果・過程を図表・グラフなどで表せていない。また、結果・過程を説明することができない。
	⑨数学的思考・理解	研究結果や過程を数学的な考え方に基づいて説明している。さらに、その過程を論理的にわかりやすく述べている。	研究結果や過程を数学的な考え方に基づいて説明している。	研究結果や過程を数学的な考え方に基づいて説明しているが、不十分である。	研究結果や過程を数学的な考え方に基づいて説明しておらず、経験や常識に繋がっている。